

日本大学大学院商学研究科博士前期課程  
一般入学試験（第1期）

# 専門科目

## 注 意

- 1 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないでください。
- 2 試験開始の合図があったら、解答用紙に記載された専攻名などが出願内容と同じであるか確認してください。
- 3 この問題冊子は、全ての専攻・科目が一冊に綴じられています。出願書類に記載した専攻・科目とは異なる専攻・科目を解答しないように注意してください。
- 4 問題は、第1問と第2問があります。第1問と第2問の両方とも解答してください。
- 5 解答用紙は、第1問と第2問に分かれています。
- 6 解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名・フリガナを必ず記入してください。
- 7 解答は、解答用紙に記入してください。
- 8 解答時間は90分です。
- 9 問題冊子と解答用紙は必ず提出してください。 ※持ち帰らないこと。

| 専攻名 | 受験番号 | 氏名（フリガナ） |
|-----|------|----------|
|     |      |          |

※試験開始の合図があるまで記入しないでください。

# 商学専攻

## 専門科目

# 商学専攻

## 第1問

次の【1】と【2】の全てについて回答してください。

【1】 2008年9月にアメリカの投資銀行であるリーマン・ブラザーズが経営破綻したことが発端となって、世界的大不況が始まりました。この不況は、日本ではリーマン・ショックと呼ばれることが多いですが、世界的には金融危機と呼ばれることが多いです。この不況について、次の問1と問2に答えなさい。

問1 リーマン・ブラザーズが経営破綻した当時のアメリカの金融の状況について説明しなさい。また、リーマン・ブラザーズの経営破綻の原因を説明しなさい。

問2 アメリカが発端となったリーマン・ショック（金融危機）はどのようにして（どのような経路で）日本経済に影響を与えましたか。また、その影響はどのようなものでしたか。

【2】 銀行が不良債権をかかえることがときおり起こります。不良債権はどのようにして生じるのでしょうか。銀行は不良債権にどのように対応すべきでしょうか。また、銀行だけでは対応しきれない場合には、どのような政策がとられるべきでしょうか。

# 商学専攻

## 第2問

以下の問いに答えなさい。

1. ソーシャル・マーケティングには大きく2つの流れがある。1つ目は非営利組織のマーケティング、2つ目は社会志向のマーケティングである。
  - ① それぞれの違いを説明しなさい。
  - ② どちらか一つを取り上げて、事例をまじえて詳しく述べなさい。
2. 現代におけるオピニオンリーダーとは何かを論述しなさい。インフルエンサーとの違いにも言及して論じること。

# 経営学専攻

## 専門科目

# 経営学 専攻

## 第1問

以下の問題から2つ選び、それぞれに対して答えなさい。なお、解答する順番は前後しても構わないが、必ず文頭に問題番号を明記すること。3つ解答があった場合には、解答順に上から2つを評価の対象とする。

### 問題Ⅰ

「資源依存理論 (resource dependence theory)」について説明しなさい。具体的には、①同理論を確立した代表的な研究、②具体的な理論の内容、③同理論を用いた Amazon Japan G.K. の宅配事業に関する簡単な事例分析、の3つについて述べること。

### 問題Ⅱ

競争戦略論における「ポジショニング学派」では、事業活動を展開する産業・業界により業績が規定されるという発想が基本とされている。その基本的な発想について、企業業績の分散に影響している要因を特定する「COV分析」では「産業・業界効果 (industry effect)」がどの程度の影響を及ぼしていると結論づけられているかを踏まえて説明しなさい。

### 問題Ⅲ

企業が複数の事業を組み合わせることで「収入が底上げされる効果」ならびに「費用が削減される効果」のことを何と呼ぶか。また、後者の「費用が削減される効果」が生じる論理について、経済学的な概念を用いて説明しなさい。

## 経営学 専攻

### 第2問

以下の3つの設問すべてについて答えなさい。

1. ファヨール (Fayol) の「管理過程論」において、管理活動を他の諸活動と区別したことの意義と、管理活動の重要性が相対的に高い企業規模と職位について述べなさい。
2. テイラー (Taylor) の「科学的管理法」とメイヨー (Mayo) らの「人間関係論」における人間観について、比較しながら述べなさい。
3. アージリス (Argyris) のシングル・ループ学習とダブル・ループ学習を、具体的な例を取り上げながら説明しなさい。

# 会計学専攻

## 専門科目



# 会計学専攻

## 第1問

1. 下記の【】の箇所に適切な語句を記入しなさい。

(1) 【 】とは、財貨の消費量を科学的、統計的調査に基づいて能率の尺度となるように予定し、かつ、予定価格又は正常価格をもって計算した原価をいう。

(2) 【 】とは、製品の企画・設計・開発段階を中心に、技術、生産、販売、購買、経理等の企業の関係部署の総意（創意）を結集して、顧客満足度の向上と利益増大の両立を図る管理会計手法である。

(3) 【 】とは、財務的視点だけでなく、顧客の視点、社内ビジネスプロセスの視点、学習と成長の視点等、多角的な視点から、ビジョン、戦略の策定、実行、戦略そのものの是正を促進し、企業変革を進める戦略的マネジメントシステムである。

(4) アンソニー（Anthony, Robert N.）は、経営管理システムを戦略的計画、【 】、オペレーショナルコントロール（タスクコントロール）の3つのレベル（階層）に区分することを主張した。

(5) 【 】とは、ジャストインタイム生産方式を採用する企業等が、原価計算に要する手間を減らすために工夫した原価計算で、当期中に発生した製造費用はいったん売上原価勘定の借方に記入しておき、期末に売上原価勘定から在庫勘定へ製造費用を差戻す原価計算をいう。

2. 1988年に、クーパー（Cooper, Robin）とキャプラン（Kaplan, Robert S.）は、ABC（Activity-Based Costing：活動基準原価計算）を発表した。その後、ABCは、製造業における製造間接費の配賦方法の改善から、統合的な間接費の管理手法として、ABM（Activity-Based Management：活動基準管理）に発展し、さらにABB（Activity-Based Budgeting：活動基準予算管理）が誕生した。伝統的原価計算と対比して、ABCの特徴について記述しなさい。

# 会计学 専攻

## 第2問

問1 下記の文章は、討議資料『財務会計の概念フレームワーク』に示される文章である。

【文章】1. ～【文章】6. の（ 1 ）～（ 10 ）に当てはまる用語について、下記に示した【語群】の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

この部分は著作権の都合上、  
公開できません。

問2 次の問に答えなさい。

1. 営業利益・経常利益・純利益の性質についてそれぞれ説明しなさい。
2. 退職給付引当金を例として、引当金の必要性について説明しなさい。